

地理歴史 科

科目名	単位数	学 年	学 科
地理総合	2 単 位	3 年	普通科 農業機械科

教科書	地理総合 新詳高等地図	副教材	なし
-----	----------------	-----	----

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1編 地図や地理情報システム でとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を集め、読み取り、まとめる基礎的・本格的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して主題を設定し、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察して、表現している。 世界の人々の生活文化について、その特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現している。
2 学期	第2編 国際理解と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人の生活文化の特色を尊重し、国際理解を図るなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察し、表現している。
3 学期	第3編 持続可能な地域づくりと 私たち	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏の地理的な課題を解決や探究などについて理解している。 	

- 1 私たちの生活や身近な地域と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることについて考えてみましょう。
- 2 様々な資料を活用してレポートを作成し、課題（問い）を見つけ、多面的・多角的に考察し、それを表現しましょう。
- 3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	事象の背景や原因を理解し、多様な資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察している。
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
定期考査	1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末 (計5回)	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能 (定期考査、レポート) ②思考・判断・表現 (定期考査、レポート、グループワーク) ③主体的に学習に取り組む態度 (授業・研究発表の態度、レポート、グループワーク)	

地理歴史 科

科目名	単位数	学 年	学 科
地理総合	2 単位	3 年	農 業 科

教科書	地理総合 新詳高等地図	副教材	なし
-----	----------------	-----	----

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1編 地図や地理情報システム でとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を集め、読み取り、まとめる基礎的・本格的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して主題を設定し、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察して、表現している。 ・世界の人々の生活文化について、その特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現している。
2 学期	第2編 国際理解と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人の生活文化の特色を尊重し、国際理解を図るなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察し、表現している。
3 学期	第3編 持続可能な地域づくりと 私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の地理的な課題を解決に向けて、調査や探求などを行うこと。 	

- 1 私たちの生活や身近な地域と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることについて考えてみましょう。
- 2 様々な資料を活用してレポートを作成し、課題（問い）を見つけ、多面的・多角的に考察し、それを表現しましょう。
- 3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	事象の背景や原因を理解し、多様な資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察している。
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
定期考査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末 （計5回）	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、レポート） ②思考・判断・表現（定期考査、レポート、グループワーク） ③主体的に学習に取り組む態度 （授業・研究発表の態度、レポート、グループワーク）	

